



# 子どもの成長に合わせて 家庭教育を支援します

仕事に子育てにと頑張る日々が、将来の子どもにとっても良い方向に進む毎日であってほしい。そんな思いで、頑張っているお母さんやお父さんを、応援します。市では、市家庭教育支援計画「ステップ親子学びプラン」を策定しました。これは、子どもの成長に合わせて、行政や地域、学校などが連携して親を支えていくための計画です。この計画の主な支援事業についてご紹介します。

心豊かでたくましい  
恵那っ子を育てよう

親も多くいます。子育てを楽しみ、心豊かでたくましい子どもを大きく育てるためには、親同士の結びつきや、地域全体で家庭や子どもたちを支えることが重要です。親が自信を持って子育てを行えるよう、市では家庭教育支援のための施策を推進していきます。

## パパママ学級

これから親になるうとして、両親を対象に、父親の子育てへの参加意欲を高め、母親の出産に伴う不安を除くために、妊娠経過の話や沐浴の実演などを行います。

## ひよこパパママ学級

初めての1歳児をもつ親に、小児科医師による健康や生活リズムの講話、社会教育指導員による遊び方の話などを行います。また、このほか都合のつく限り医師による個別健康相談にも応じています。

## 乳幼児学級

保護者の学びの場、仲間づくりの場、そして子どもとの社会性を養う場として、入園前の子どもとその親を対象に、13の公民館で14学級が運営されています。

## 保

護者の学びの場、仲間づくりの場、そして子どもとの社会性を養う場として、入園前の子どもとその親を対象に、13の公民館で14学級が運営されています。

## 進む核家族化

家庭教育を取り巻く状況

少 子化や核家族化が進み、これまでは家庭や地域で自然になされてきた教育も質的に変化してきています。兄弟姉妹が少なく、子どもたちの多くが家でゲームやテレビを見て過ごし、近所の友達と遊んだり、地域の大人やお年寄りや接したりすることが少なくなりました。

核家族化の進展により、「子育てを母親一人が担っている」「子育てについて身近に相談できる相手がいない」など、悩みや不安を抱えている

「子育てを母親一人が担っている」「子育てについて身近に相談できる相手がいない」など、悩みや不安を抱えている



明智保健センターで行われたブックスタート

## ブックスタート

赤 ちゃんと保護者が絵本を通じて、ゆっくりと心触れ合うひとときを持つきっかけになるよう始めました。

赤ちゃんと一緒に絵本を開く時間の楽しさを体験することで、安心できる親子関係を目指します。

## 子ども教室の開催

放 課後の小学校や休日の公民館などを活用して、地域の大人たちの協力を得て、遊びや軽スポーツ、文化活動などのさまざまな体験・学習活動や地域住民との交流を実践していきます。



岩邑小学校の下校風景

## 下校時見守り・あいさつ運動

子 どもたちを地域全体で見守り、安全確保や犯罪抑止を図るために、「下校時見守り・あいさつ運動」を始めます。小学校の下校時間に防災行政無線と告知放送を使って、子どもの声で地域の皆さんへ見守りを呼び掛けるものです。

子どもたちは、皆さんに「ただいま」と声を掛けます。皆さんは「お帰り」と答えてください。田んぼや畑、軒先から手を振ってくださるだけでも結構です。下校時間に子どもたちからの呼び掛けを聞きましたら、ぜひ「見守り・あいさつ運動」にご参加をお願いします。

## そのほかの実施事業

3歳子育て広場、家庭教育学級の活動充実、子ども会活動、公民館講座などの活用、ジュニアボランティアの推進、子育て・親育ちフォーラムの集い、家庭教育手帳の配布・学習、家庭教育通信の発行など。

問い合わせ 社会教育課 432112 (内線220)

恵那市家庭教育支援計画  
2008年度～2010年度

## ステップ親子 学びプラン

～生まれた命が次の命を  
はぐくむまでに～

家庭はあらゆる教育の原点であり、出発点です。しかし社会の孤立化が進む中、青少年犯罪の増加や児童虐待、育児放棄、不登校や引きこもりに見られるように、親が子どもたちにとってのよい方向に向き合ったらよいのか、親自身が不安になり、誰にも相談できない状況で、自信を無くし、助けを求めています。

家庭教育とは、子どもの人格形成やしつけなど、親がわが子に対して行う家庭での教育のことであり、このプランはその家庭教育力を強化、向上するために、子どもの発達段階をたどりながら、行政や地域、学校などが連携して親を支えていくための計画で、3年ごとに見直します。

この計画は市中央図書館、各公民館、社会教育課で閲覧できます。

